

## 独立した第三者保証報告書

花王株式会社  
代表取締役 社長執行役員 長谷部 佳宏 殿

2022年5月16日

KPMG あずさサステナビリティ株式会社  
東京都千代田区大手町一丁目9番7号

代表取締役 齋藤 和彦<sup>印</sup>

当社は、花王株式会社(以下、「会社」という。))からの委嘱に基づき、会社が作成した花王サステナビリティレポート 2022(以下、「サステナビリティレポート」という。))に記載されている2021年1月1日から2021年12月31日までを対象とした<sup>印</sup>マークの付されている環境・社会パフォーマンス指標(以下、「指標」という。))に対して限定的保証業務を実施した。

### 会社の責任

会社が定めた指標の算定・報告規準(以下、「会社の定める規準」という。サステナビリティレポートに記載。))に従って指標を算定し、表示する責任は会社にある。

### 当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」及びISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主としてサステナビリティレポート上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- サステナビリティレポートの作成・開示方針についての質問及び会社の定める規準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める規準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した栃木工場及びPT. Kao Indonesia Chemicalsにおける現地往査の代替的手続としての質問及び証拠等の文書の閲覧
- 指標の表示の妥当性に関する検討

### 結論

上述の保証手続の結果、サステナビリティレポートに記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める規準に従って算定され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

### 当社の独立性及び品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第1号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上

上記は保証報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社およびKPMG あずさサステナビリティ株式会社がそれぞれ別途保管しています。

花王サステナビリティレポート 2022は環境・社会パフォーマンス指標に関して、より高い透明性を確保して情報公開を行なうためにKPMG あずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。なお、保証対象指標には <sup>印</sup>マークを表示しています。

### 保証対象データ

カテゴリー	データ	該当ページ
責任ある原材料調達	紙・パルプの認証品比率(花王製品に使用する紙・パルプ[一部製品を除く])	P87
	認証油購入実績(花王グループ)	P87
脱炭素	エネルギー使用量の推移(全拠点)	P101
	製品ライフサイクル全体のCO <sub>2</sub> 排出量の推移(花王グループ)	P101
	温室効果ガス排出量の推移(全拠点)	P101
	スコープ1 CO <sub>2</sub> 排出量の推移	P102
	スコープ2 CO <sub>2</sub> 排出量の推移	P102
	スコープ3 CO <sub>2</sub> 排出量の推移※1,4,11,12のみ	P103
ごみゼロ	輸送時のCO <sub>2</sub> 排出量の推移(日本)	P109
	廃棄物等のうち再利用・リサイクルされた量(全拠点)	P120
	廃棄物等発生量の推移(全拠点)	P120
水保全	食品廃棄物の推移	P121
	製品ライフサイクル全体の水使用量の推移(花王グループ)	P135
	水使用量(取水量)の推移(全拠点)	P135
	水源別取水量の推移(全拠点)	P135
	放流先別排水量の推移(全拠点)	P135
大気および水質汚染防止	NOx 排出量の推移(全生産拠点)	P145
	揮発性有機化合物(VOC) 排出量(日本花王グループ)	P145
	COD 汚濁負荷量の推移(全生産拠点)	P145
製品ライフサイクルと環境負荷	OUTPUT: 原材料購入-CO <sub>2</sub> 排出量 OUTPUT: 開発・生産-温室効果ガス排出量 OUTPUT: 物流・販売(施設および営業車)-温室効果ガス排出量 OUTPUT: 輸送-CO <sub>2</sub> 排出量 OUTPUT: 使用-CO <sub>2</sub> 排出量 OUTPUT: 廃棄・リサイクル-CO <sub>2</sub> 排出量	P151
受容性と多様性のある職場	基本給 + その他現金インセンティブ 年間平均額(花王(株))	P219
	基本給 年間平均額(花王(株))	P219
社員の健康増進と安全	社員 + 派遣社員(花王グループ)の休業度数率	P239
	協力会社(花王グループ)の休業度数率	P239
	社員 + 派遣社員(花王グループ)の業務上疾病による休業者数	P240

### 環境・社会パフォーマンス指標の集計範囲

花王株式会社および子会社を集計範囲としています。集計範囲が異なる場合は、グラフの注釈および文中に明記しています。